



カミットくん

あいことば 上宇部 2025

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

「しあわせの連さ」

03.16 NO-60

学校運営協議会長から……

本年度最後の学校運営協議会を終えて、山野あい子会長から、この1年間を振り返っての思いを寄せていただきました。以下に、山野会長からの文章をご紹介します。

「本年度の学校運営協議会を終えて……」 学校運営協議会長 山野あい子

4月の第1回学校運営協議会。新しい風が吹きそうな予感の中で、グランドデザインの承認を行いました。しかし、ただ承認するだけではありません。「本当にこれでよいのか」を一つひとつ見直し、点検しました。学校運営を“俯瞰して”捉える、いわば蟻の目ではなく鳥の目で考える——その第一歩だと感じた瞬間でした。

その後も今回まで、これまでにない形の学校運営協議会を毎回経験させていただきました。目標達成に向けた課題について、どれだけ成果が上がっているのかを振り返り、辛口の友人として意見を交わしました。批判的思考で語る場面もありましたが、すべては子どもたちのため。必要なことだと割り切って臨みました。

第3回では、課題解決のために複数のワーキンググループを設定しました。あえて下部組織を立てることで、「ワーキンググループとは何か」が明確になり、所属していないグループの会議内容も共有できるようになりました。

また、必要に応じて子どもたちとの熟議を取り入れたり、今まで参加したことのない会議に委員全員で参加したりもしました。こうした経験の積み重ねによって、委員全員が学校運営を“鳥の目”で見られるようになったと感じています。

最後の学校運営協議会では、チャレンジ目標への取組について5・6年生との熟議を行い、本年度の学校関係者評価を実施した後、「子どもたちの生きる力を育む」という目的達成のために、来年度の目標について協議しました。来年度4月からのグランドデザインが、きっと生きたものになるという確信をもてる会議となりました。

この1年は、子どもたちの生きる力を育むために、学校運営協議会はどうあるべきかを学ぶ、貴重な時間でした。

最後に、学校が前向きに変わっていく様子が手にとるように感じられるのが、学校が発行している「あいことば上宇部 2025」です。一つひとつの記事の背景にある思いを知らなければ、感謝の気持ちは生まれません。なぜ、何のために、誰が、どうして——その思いを発信し続け、子どもたち・先生方・地域の方々の取組をその都度価値付けている。それが、学校や地域の力になっているとあらためて感じています。やっぱり上宇部小学校は、素敵な学校です。



あいことば上宇部